

きずなの郷

第16号
2005 春

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成17年4月20日

除雪ボランティア

除雪ボランティアがスタートしたのは、平成2年に開所した「在宅老人日帰りサービスセンターやすらぎ荘」に通われている皆さんの、自宅の除雪をお手伝いしたことがきっかけでした。

また、日頃、お世話になっている町の皆さんに、耳は不自由でも体力には自信のある利用者からお返しをしたいという思いもありました。

その後、平成7年に新得町社会福祉協議会で除雪ボランティアが事業化され、依頼を受けて、町内の独居高齢者宅の除雪を行うことになりました。

当初は22軒のお宅を手分けして回っていましたが、町内の独居高齢者の数はしだいに増え、平成16年度には49軒が除雪サービスを希望されています。その中で、わかふじ寮が依頼されている数は30軒、それ以外の19軒を町や個人ボランティアが担当していますが、個人ボランティアは4名と少ないのが現状です。

除雪ボランティアの流れは、まず、積雪が20センチを超えた日の翌朝に、町から施設に連絡が入ります。依頼を受け、職員と利用者が2～3つのグループに分かれて各お宅を訪問し除雪を行っています。

基本的には、各家庭の玄関から道路までの通路を手作業で除雪していますが、その距離が長いお宅や積雪量が多い場合にはホイルローダーを使用することもあります。

今冬は、1月に降雪がほとんどありませんでしたが、3月15日現在で5回の活動を行いました。サービスを受けている独居高齢者の方々からは大変喜ばれており、今後も活動に参加していきたいと考えています。

除雪ボランティア… 1

平成17年度事業計画

法人本部…	2
わかふじ寮…	2
やすらぎ荘…	2
屈足わかふじ園…	2

施設通信

わかふじ寮…	5
やすらぎ荘…	7
屈足わかふじ園…	11

利用者紹介… 11

連載

障害者の楽園づくりに
生涯を最終回… 13

人事異動… 13

御寄付・御寄贈御芳名…
14



法人本部及び各施設の事業計画の抜粋をお知らせいたします。

法 人 本 部

方針

社会福祉基礎構造改革に伴い社会福祉施設は、利用者との契約や苦情解決のための体制整備やサービス評価など利用者の立場に立ったシステムの構築・経営の実施などが求められている。

厚生労働省からは「今後の障害者保健福祉施策について（改革のグランドデザイン案）が提示され、身体障害者施設はこれからの施設のあり方を考える必要がある。

又、介護保険制度の法施行後5年目の見直しが検討され、養護老人ホームのあり方についても示されることになっている。

この様な状況の中、当法人として課題の検討をはじめ、サービスの提供や施設経営上の課題に敏速に対応していかなければならない。

本年度はこれらの状況を踏まえ、下記の事業を推進する。

事業計画

1. 理事会及び監事監査の開催。
2. 研修会の参加。
3. 管理、施設在宅、就労センター、研修部の指導・助言。
4. 地域還元事業（①ふれあい盆踊りの支援、②きずなの郷まつりの支援、③地域住民に対するボランティア活動の実施）。
5. 法人5か年計画立案と実施。
6. 富士道公認会計士との顧問契約。
7. 松浦弁護士との顧問契約。

わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

国の福祉施策の大きな変革の中、利用者の働いて工賃を得るという権利を守り、潤いのある生活が送れるよう国の動きに合わせて素早い対応が求められている。

利用者個々からの施設利用についての意見や希望、意向等を踏まえ策定された個別支援計画に基づき、個々のニーズに応じた適切なサービスの提供を行い、利用者にとって住み良い環境を整え、選ばれる施設を目標とする。

生活面

1. 個別支援計画に基づき、個々の利用者の希望や生活のニーズにあった支援をする。
2. 地域生活移行と自立した地域生活へ向けた支援の実施。

健康管理

1. 肥満や生活習慣病を中心に検査データに応じて個別指導の強化。
2. 感染症予防対策の徹底。

管理・研究

1. 人事考課制度導入の試行段階として職員の理解と協力を得る。
2. グランドデザインに対応した、対策の研究と実施。
3. 利用者の地域生活移行や新たな地域生活の場についての検討。

わかふじ寮授産

売上の向上とコスト削減を考えなければならない厳しい状況にあり、これらのことを把握し全職員共通認識のもと、「売上の確保」「仕事量の確保」「コスト削減の強化」を目標として競争力のある事業振興を図ることを重点に事業を計画し実施する。

事業内容

1. 売上の確保（部門別営業の強化、訪問営業による売上の獲得）。
2. 仕事量の確保（NCルーター等の活用による他社からの受注の獲得、軽作業の受注獲得）。
3. コスト削減の強化（コスト削減を意識し計算する能力、生産体制の見直し）。
4. 新規事業の検討

営業計画

厳しい競争環境下においての展開を確実なものにする為、「市場性」・「的確、迅速な行動」・「営業利益確保」を指針とし競争力のある営業展開を実践する。

《行動指針》・市場性を意識した営業展開、お客様第一主義の営業展開、利益確保を目指した営業展開。

《販売促進》・営業と部門担当者による販売促進強化。

聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

運営方針

施設の介護職員等は、利用者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

利用者の処遇

利用者の処遇については、医学、心理学等に基づき、入所者の心身の状態に応じた処遇方針を定め、快適で楽しい安らかな生活を過ごせるよう行う。

【介護部門】

①日常生活動作能力、心理状態、家族関係及び施設内生活態度等を定期的に調査し、個別処遇計画を策定する。②痴呆性老人の処遇対策を確立する。③レクリエーション及びクラブ活動等の実施により、気分転換、生活意欲の増進が確保されるよう創意工夫する。④全国4ヶ所（広島、京都、福岡、北海道）の聴覚障害者の老人ホーム利用者との交流を図る。⑤利用者とのコミュニケーションを十分に図る。

【医療部門】

①定期健康診断の実施。②利用者の身体等の状況を適宜記録し、状況変化の把握と適切な対応を行う。③各部門、家族との連絡を密にし、緊急時に速やかに対応できる体制を確立する。④インフルエンザ予防対策としてワクチンの接種を実施する。

【地域社会との交流・広報活動】

①全道の聴覚障害者との交流を深める。②地域の小学校、施設との交流を深め手話の普及に努める。③町民芸能芸術祭等に積極的に参加し、一般町民との交流を深める。④施設のホームページ等を有効に活用する。

特別養護老人ホーム やすらぎ荘

運営方針

施設の介護職員は、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

利用者サービス

（1）利用者の要介護状態の軽減又は悪化の防止に資するよう、利用者の心身の状況等に応じて、処遇を妥当適切におこなう。（2）施設サービスの提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者又はその家族に対し、処遇上必要な事項について、理解しやすいように説明を行う。（3）当該利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行わない。（4）自らその提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図る。

【介護部門】

①施設サービス計画を作成し、利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する。②利用者の自立の支援及び日常生活の充実に資するよう、利用者の心身の状況に応じて、適切な技術を持って行う。

【医療部門】

インフルエンザ予防対策としてワクチンの接種を実施する。

【地域社会との交流・広報活動】

地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなどの地域との交流に努める。

短期入所生活介護事業

①短期入所生活介護計画に基づき、利用者の機能訓練及びその者が日常生活を営む上で必要な援助を行う。①利用者の増加にともない、安全・衛生管理の徹底を図り、利用者のニーズに対応した極め細やかなサービスの提供を行うため、増床を行う。

居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

居宅介護事業所の目的

町内の要介護状態になった高齢者が居宅において豊かでやすらぎのある自立した生活ができるよう、利用者や家族の意思及び人格を尊重し、利用者の心身の状況や環境等に応じ、適切な保険・医療サービス及び福祉サービスが総合的に提供されるよう介護支援を行う。これらの支援を行なうため市町村やサービス事業者、医療関係者との綿密な連携を図り、事業を通して地域福祉、社会福祉に貢献していくものとする。

具体的計画

①介護サービス計画の策定

専門的な見地から利用者が抱える問題点に対し、課題分析（アセスメント）を実施し、解決すべき課題を明らかにする。それに基づき要介護者や家族の意向を踏まえた目標を設定し、利用者の自己決定を尊重し、利用するサービスの種類、内容、頻度、期間を検討し、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成する。

②サービスの継続的な管理

利用者や家族、サービス担当者とのコミュニケーションを密にし信頼関係の構築に努める。計画されたサービスの実施状況を把握し評価するため定期的に利用者宅を訪問し状況確認をし、要望や苦情等の相談に応じ、提供サービス事業所との緊密な連絡調整を行う。課題解決に向け定期的に評価（モニタリング）を行ない、常に利用者に対して継続的な介護サービス計画を提供する。

③サービスの質の確保

イ）在宅介護支援の専門家としての技術の向上と人間性の研磨に努める。

・介護支援専門員研修会等への参・サービス担当者会議等への出席

ロ）自己評価を行う。

・北海道作成の「介護支援専門員業務に関するチェックリスト」に基づく。

④利用者確保の方策

地域への介護保険や事業所の情報提供を行ない、信頼関係を構築しながら、利用者確保を図る。

訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

運営方針

訪問介護員は、要介護者の個々の生活、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じた自立した生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

利用者サービス

(1) 要介護者の住み慣れた居宅や地域で生活できるよう、要介護者の生活や心身の状況等に応じて、援助を妥当適切に行う。(2) 訪問介護計画を作成、同意をもらい、写しを交付し、利用者がその能力に応じ自立した生活が営めるよう援助を行う。(3) 訪問介護サービスに当たり、懇切丁寧を旨とし、利用者又はその家族に対し、サービス上必要な事項について理解しやすい説明を行う。(4) 自らその提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図る。

事故発生時の対応

(1) 利用者に対する訪問介護サービスの提供により事故が発生した場合は、速やかに利用者の家族等、必要な関係機関に連絡し、必要な措置を講じる。(2) 利用者に対する訪問介護サービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、速やかに損害賠償を行う。

日帰りサービスセンター やすらぎ荘

目的

利用者が、可能な限りその居宅において、その能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴及び食事の提供、生活等に関する相談及び助言、健康状態の確認その他の必要な日常生活上の世話、機能訓練等のサービスを提供する。利用者の健全で安定した在宅生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。

運営方針

利用者の病状、心身の状況、利用者と家族の希望、置かれている環境を踏まえて機能訓練等の目標を設定し、これを達成するための具体的なサービスを、要介護状態の軽減もしくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するよう、計画的に行う。

利用者サービス

(1) 通所介護計画に基づき、利用者の機能訓練及び日常生活を営むことができるよう必要な援助を行う。(2) サービスの提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者又はその家族に対し、サービスの提供方法等について、理解しやすいように説明を行う。(3) 常に利用者の心身の状況を的確に把握し、相談援助等の生活指導、機能訓練その他必要なサービスを利用者の希望に添って適切に提供する。(4) 自らその提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図る。

衛生管理等

(1) 利用者の使用する施設、食器その他の設備又は飲用に供する水について、衛生的な管理に努め、又は衛生上必要な措置を講じる。(2) 感染症が発生し、蔓延しないように必要な措置を講じる。

屈足わかふじ園

今年度の重点目標

現在、障害者福祉施策のあり方について、大幅な制度見直しが進められている。即ち、支援費制度の財源問題を発端に介護保険との統合（活用）論が論議されている中、昨秋には厚生労働省から今後の障害保健福祉施策について（改革のグランドデザイン案）が示された。今後は、障害者の自立支援の立場から、施設体系・事業体系・利用者負担等の見直しが行われることになる。このような状況ではあるが、支援費制度の根幹である利用者の主体的な選択と決定による契約に基づき、適切なサービスを提供できるよう努める。特に利用者の健康に留意し、利用者のニーズをふまえて生活に質の向上に努める。

(1) 介護部門

①個別支援計画を活用しサービスの向上に努める。②介護マニュアルを見直し、更に技術の向上・介護内容の充実を目指す。③職員間の連携を密にし、事故防止に努める。④接遇を見直し、介護職としての資質を高める。

(2) 医療部門

①医師・協力病院との連携を密にし、緊急時等に適切な対応ができるよう、体制作りを努める。②感染予防マニュアルに基づき、対応策について積極的に取り組み予防に努める。

(3) 給食部門

①嗜好調査を実施し、利用者の意見をメニューに反映させるように努める。②行事食等に工夫をこらし、楽しくおいしい給食が提供できるよう努める。③外食産業等、専門業者より出張実演による食事提供の機会を設ける。④セレクトメニューを週2回実施する。

(4) リハビリ部門

①利用者の身体状況に応じた個別の訓練計画を作成し、身体機能の維持と日常生活動作の拡大を図る。②各部門との連絡調整を密にし、生活に即したリハビリを提供していく。

(5) 生活支援部門

①利用者からの苦情・相談を随時受け入れ、個別の相談援助を行うと共に、必要に応じ、利用者間の人間関係の調整を行う。②ボランティアの受け入れ体制の強化と育成（研修会の開催、学校教育との連携）③利用者と共に、快適な施設生活に向けて検討し合う機会を設ける。桜の会（利用者懇談会）を実施する。④在宅移行検討委員会の充実を図り、利用者の在宅移行に向けて取り組んでいく。

(6) ショートステイ

①新規利用者の受け入れにあたっては、事前に利用者の身体や生活状況を把握し、関係部門との連絡調整を行う。②利用者の意向、家族の意向を尊重し、状態変化については、家族等へ連絡を密に取り介護の提供を図る。③利用拡大に向けた広報活動を行う。

屈足わかふじデイサービスセンター

①利用者の身体、精神状態を理解し、安心した介護を提供できるように努める。②施設行事、クラブ活動の参加を声かけ、入所利用者と交流できる機会を作る。③利用拡大に向けた広報活動を行う。④町外からの利用者受け入れを行っていく。

日本財団より車両の助成 (わかふじワークセンター)

3月25日、日本財団の助成を受け、わかふじワークセンターにマイクロバスが納車されました。車両は29人乗り（日野自動車リエッセⅡ）で、主にわかふじワークセンターに在籍する利用者の送迎に利用されます。

これまでは通所者支援のための送迎バスを所有していなかったため、ワゴン車での送迎や、元気な方には徒歩で通っていただいていたことから、特に高齢の方には不便をお掛けしていました。

この車両は、送迎はもとより余暇活動や行事等、多目的に使用されており、利用者の皆さんに大変喜ばれています。



パン工房わかふじからのお知らせ (パン工房わかふじ)

各イベントやホームパーティに焼きたてパンのオードブルはいかがですか。

お好みに合わせてセット致します。

単品でも御注文を承っておりますので別紙の注文用紙にご記入の上、FAXにてお知らせください。地方発送も致します。

(送料はご負担願います。道内一律300円)

また、新得市街の方でしたら3,000円以上御注文いただきましたら無料で配達致します。

(配達時間11:00~5:00まで)

価格等、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先

パン工房わかふじ

TEL 01566-4-5133(パン工房)

FAX 01566-4-5522(わかふじ寮)

営業時間

AM11:00~PM7:00

定休日

日曜・祝祭日



利用者との懇談会 (わかふじ寮)

例年12月に行っている利用者の皆さんとの懇談会が、昨年度も12月18日に行われました。毎年、様々な意見が出され、早急に担当者で解決策を話し合います。

生活面では、「浴室に使用済みのカミソリ等が置きっ放しになっていて危ない」「トイレを使用中に電気を消す人がいる」「厨房の流しに食器を返却する際、乱暴に投げる人がいる」「施設旅行の行き先に、道内のスキー旅行はどうか」等の声がありました。

また、作業面では、「工場のゴミが分別されておらず、分別し直している」「掃除用具が壊れている」「畑側が散らかっている」等の意見がありました。

今回出されていた意見には『ゴミの分別』に関するものが多く、2年前からゴミが有料化となったことに伴う分別の徹底が、利用者の皆さんの中に強く意識されるようになったことがうかがえます。

その他、意見の中には職員に伝えることで、すぐに解決できるものも多くあり、困っていることがあれば、懇談会を待たずに職員に伝えていただくようお願いして、約1時間の懇談会を終了しました。



耳の日記念 ふれあいゲーム大会 (わかふじ寮)

毎年恒例となりました、十勝聴力障害者協会が主催する「耳の日記念ふれあいゲーム大会」が2月26日(土)に開催されました。

今年の種目は、花札、マージャン、五目並べ、将棋、トランプ(ばばぬき、七並べ、ページワン)7つで行われ、わかふじ寮3施設の利用者が希望の種目に参加し、また、やすらぎ荘のお年寄りの中からも、一部希望者の方々が参加され、和気あいあいとしたムードの中で熱戦が繰り広げられました。成績は次の通りです。



花札	1位 山内 幸雄	2位 斎藤 拓美	3位 宮久保 実
マージャン	1位 中野 勝弘	2位 寺田 勝義	3位 後藤 勝治
五目並べ	1位 西村 勉	2位 片岡 虎雄	3位 森脇 千尋
将棋	1位 須田 有示	2位 鈴木 司	3位 島津 義聡
ばばぬきA	1位 石川 勝也	2位 三浦 順子	3位 後藤 陽子
ばばぬきB	1位 坂口富美子	2位 佐藤 玲子	3位 吉田 順子
七並べ	1位 山口 守	2位 加藤 憲子	3位 辻田 貴久
ページワン	1位 高橋三代彦	2位 足利 晴美	3位 貴俵 情美

以上となります。

また来年もがんばって下さい!!

わかふじ会 (わかふじ寮)

平成17年1月4～5日、第28回目のわかふじ会旅行が3年振りに十勝川温泉・笹井ホテルにて行われました。

わかふじ会の会員は、施設職員・利用者を含めると現在約200名ですが、今回の参加者は63名と少なめでした。

帯広をはじめ、札幌、北見、釧路の各地から参加があり、夜の宴会に合わせて各地区班の現況報告やわかふじ寮の新職員の紹介等が行われました。久しぶりに顔を合わせたメンバーは、夜遅くまで話に花を咲かせていました。

平成18年には実施せず、次回は2年後に予定されています。



ユニークダンスパーティ

(やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

毎年クリスマス時期のお楽しみ、ユニークダンスパーティが今年も12月3日にふれあいホールで、盛大に行われました。施設内の踊りクラブには参加されない方も、このパーティは楽しみにしている利用者が多く、養護と特養合わせて50人が参加されました。「津軽のじょっぱり」に始まり「きよしのズンドコ節」まで合計15曲、途中で昼食タイムがあるとはいえ、みなさん楽しそうに踊り続けていました。車イスで参加された方も多数いましたが、腕を動かして踊りに加わったり、踊っている人達を眺めたりと、それぞれパーティを楽しんでいました。最後には、社会福祉協議会の方が扮したサンタクロースからプレゼントを頂き記念写真を撮って終了しました。

ここ数年町のお年寄りの参加者が減り続け、全参加者の半数近くがやすらぎ荘の利用者という現実です。町内からも多くの方に参加して頂き、今後も楽しいユニークダンスパーティが続いてくれるようお願い次第です。



施設内ゲートボール大会

(やすらぎ荘)

11月30日(日)にデイホールで施設内ゲートボール大会が開かれ、やすらぎ荘の利用者24名と新得やすらぎ荘の利用者2名の26名が、A・B・C・Dの4チームに分かれて行いました。総当たり戦で午前中3試合、午後3試合の合計6試合で競技しました。いつもの練習とは違いとても緊張している利用者が多く、上手な方でもなかなか第1ゲートがくぐらなかつたり、普段はなかなか通らない方がすぐ通つたりと、いつもとは違うゲーム展開を見ることができました。白熱した大会の結果はBチーム(高田氏・須田氏・吉野氏・岡本氏・藤谷氏・藤田氏)が優勝しました。



クリスマス会

(やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

12月22日に、やすらぎ荘、新得やすらぎ荘合同行事のクリスマス会が行われました。年に一度の一大イベントということもあり、何日も前から準備が始まりました。やすらぎ荘の利用者の方々は、余興の踊りの練習を何度も行い、当日も皆さんとても緊張されていましたが、大成功だったようで職員、利用者共に一安心でした。職員も、利用者の方々に昨年以上に楽しんで頂けるようにと、色々試行錯誤しながらプレゼントを買い、飾り付けを行いました。利用者の皆さんは、寿司やオードブル等をたくさん食べながら余興を見て笑い、サンタさんからふりかけのプレゼントをもらおうと、とても喜ばれていました。職員一同、利用者の方々の笑顔を見て来年もまた頑張ろうと思った一日でした。



もちつき

(やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

12月10日(金)デイホールで、やすらぎ荘、新得やすらぎ荘、たんぽぽ園の合同もちつきが行われました。新得手話の会会長の千葉玄昭さんと、わかふじ寮から2名の利用者の方に応援に来て頂き、全部で9臼のおもちをつきました。男性利用者の方には、きねを持ち一生懸命ついてもらい、女性利用者の方には、つき終わったおもちを丸めてもらいました。昼食には、おもちが、あんこ、クルミ、きなこなど7種類にも調理されてテーブルに並び、利用者の皆さんは、自分達で頑張って作ったおもちを「おいしい、おいしい」と喜んで食べていました。



節 分 (やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

2月3日(木)やすらぎ荘と新得やすらぎ荘の合同行事として節分が行われました。

食堂で利用者が集まり、鬼が来るのを待ち構えていました。鬼役は5人の職員が行い、なかには、個人的に鬼の衣装を持って来て着替えている職員もあり、大変盛り上がりました。利用者の皆さんは、豆を食べたり、力いっぱいぶついたりとしみながら鬼退治をされていました。



新春お楽しみ会 (やすらぎ荘)

新年を迎えて初めての行事、新春お楽しみ大会が1月4日(火)に行われました。1番目の福笑いでは、様々な顔がとても面白く出来上がり利用者の方々は大笑いされていました。2番目の重さ当てクイズでは、職員と利用者が力を合わせる競技で、自分達の身に着けている物を袋に入れて1kg、1.5kg、3kgの重さにするのですが、見事ピッタリにするチームもありガッツポーズが出ていました。3番目の牛乳パック積みでは、最終的に積み上がっていた数が多いチームが勝ちで、今まで優位だったチームが一気に最下位に下がる場面もありました。どのチームもゲームを楽しみ、お正月のご馳走を食べ過ぎていた利用者の皆さんにはいい運動になったのではないのでしょうか。



お料理日 (やすらぎ荘)

2月24日(木)お料理日が行われ今回は、芋ケーキとお好み焼きを作りました。

利用者の皆さんは、自分のエプロンを付け、手袋をはめ帽子をかぶり積極的に参加してくれました。今回初めて作る芋ケーキは、ジャガイモの千切りの上にチーズやハムなどをのせて作るピザの様な食べ物です。ジャガイモの千切りは少々難しかった様で、太い形の物や、細すぎる形の物もありましたが、出来上がると皆さんとても「美味しい」と喜んで食べていました。



お楽しみ会 (やすらぎ荘)

2月20日(日)に、お楽しみ大会がデイホールで行われました。利用者の皆さんは、冬季間は外出の機会も少なく、運動不足や、ストレス解消も兼ねて毎年行われています。紅白2チームに分かれ、運命ゲーム、パン食い競争、玉入れの3種目を行いました。運命ゲームとは、歩行器や車イスの絵を描いたサイコロをふって出た絵の物を使いリレーをして競い合うゲームです。競技が始まると自然に熱が入り、「血圧があがるのでは」と職員が思うほどハラハラする場面もありました。得点表も数字ではなく、見て分かりやすく、楽しめるようにウサギとカメの絵を用いて工夫をしました。和やかなうちにゲームも終了し皆さん楽しまれていました。



冬のお楽しみ (新得やすらぎ荘)

新得やすらぎ荘では、利用者の方々に冬ならではの新しい楽しみを見つけて頂こうと、職員全員で色々考え、アイスクヤンドルを制作しました。およそ100個のキャンドルが居室の前や玄関、食事中にも雰囲気味わって頂ける様にと食堂の外にも飾られました。夜の冬景色の中にくつもの炎が色どられ、とても幻想的な風景にみなさんとても喜ばれていました。来年の冬もアイスクヤンドルの他に新しい楽しみを考え、みなさんが寒い冬を楽しんでいただけるよう努力していきたいと思います。



新春ゲーム大会 (新得やすらぎ荘)

新しい年を迎えた1月4日(火)、毎年恒例の新春ゲーム大会が行われました。

今年は「対決」をテーマに職員と利用者が3チームに分かれ、各チームの利用者にゲームを行う職員をくじで選んで頂き行いました。ゲームの内容も「アイスの早食べ」「どれだけ長く息を止めていられるか」「バランスとり」など、大変なゲームが多かったのですが、奮闘する職員を見て、声を出して応援する方、手を振って応援する方、「頑張ったね」と声を掛けてくれる利用者の方もいました。最後は皆笑顔で「楽しかったわ」と大変喜ばれ、新年の初笑いを堪能されておりました。



クリスマス会 (日帰りセンターやすらぎ荘)

12月16日と20日から25日までの7日間、クリスマス会を行いました。テーブルにクリスマスツリーを飾り雰囲気作りをし、3時には職員が、サンタクロースとトナカイに扮し、おやつを配りました。ある曜日には、その光景を自分のカメラにおさめてくれる方もいました。その後に職員からのささやかな贈り物として“きよしこの夜”を合唱し、天使の歌声とまではいきませんでしたが、クリスマス気分を感じてもらえたのではないのでしょうか。



ヒーロー・ヒロイン (新得やすらぎ荘)

今回、ご紹介するのは、霜野シゲノさんです。10月に入所され、もうすっかり特養の生活に慣れたようです。霜野さんに話し掛けると、いつも笑顔で答えてくださり、そのやさしくて暖かい笑顔は周囲の人までも穏やかにします。1月には誕生日を迎えられ、お花をプレゼントすると、とても喜んでいらっしゃいました。又、外が好きな様でいつも気にしていらっしゃるのので夏になったらたくさん外に出て散歩などしたいと思っています。これからも、たくさんお友達をつくって毎日楽しく過ごして頂きたいと思っています。



餅つき (屈足わかふじ園)

年の瀬を迎えた12月15日に、毎年恒例となった餅つきを行いました。

今年は昨年までとは違い、石臼を使っての餅つきです。利用者の皆さんも職員と力を合わせ、「よいっしょ」というかけ声と共に重い杵を持ち、餅をつきあげました。

つきあがった餅は皆で一緒に一口大に丸められ、納豆・黒ごま・きな粉・しょう油味のお餅にして昼食としていただきました。今年のお餅は石臼でついた成果なのか、とても柔らかく「おいしい」とおかわりををする利用者の方もたくさんいらっしゃいました。

一足早く、お正月の雰囲気を感じた一日でした。



書き初め (屈足わかふじ園)

1月2日に、利用者の方々と職員で書き初めを行い、自分の好きな言葉や今年の目標等を半紙に書いていただきました。真剣に書かれている利用者の中には俳優の名前を書かれたり、『女性職員の皆さんが結婚できますように』と書かれている利用者もいました。自分で筆を持つことが難しい利用者には職員が手伝い、作品を書き上げました。

出来上がった作品は廊下に貼り出し、ご自分の書かれた作品だけではなく、他の利用者が書かれた作品を見ながら利用者同士や職員と話しをされ、正月が明けても楽しめていたようです。また、年末年始の帰省から帰られた利用者やご家族の方々も、作品を見て楽しまれていたようでした。



お遊戯会 (屈足わかふじ園)

12月1日に屈足保育園の園児の皆さん約30名が、お遊戯を披露しに来園されました。園児の皆さんは、可愛らしい衣装や派手な衣装を着飾り、とても緊張していたり、堂々と演じている園児がいたり様々でしたが、一生懸命に披露してくださいました。利用者も真剣に見入っており、音楽に合わせて一緒に身体を動かし楽しまれている方や、感動され涙目になられている方もいました。

お遊戯を披露された後は、利用者の方々と写真撮影や話しをする時間を設けました。中には恥ずかしそうにしていた園児もいましたが、次第に打ち解け利用者との交流を楽しんでいたようです。

利用者の方々も園児との交流ができ、とても楽しまれていましたので、機会があればぜひまた交流を願っています。屈足保育園の皆さん、本当にありがとうございました。



クリスマス会 (屈足わかふじ園)

昨年の12月24日(金)にクリスマス会を行いました。このクリスマス会は利用者の意見からクリスマスイブに行おうということで、毎年曜日に関係なく24日に開催しています。当日は天候にも恵まれ、多くのご家族の皆さんにお越しいただきました。

理事長の挨拶、手話クラブのメンバーによる手話の歌で幕を開け、その後の余興では、家族会によるロシアルーレットゲーム(マスタートド入りのサンドイッチを誰がたべたかを当てるゲーム)が大いに盛り上がりを見せました。また、職員も皆さんに喜んでいただこうと大いに張り切り、マツケンサンバやハンドベル・男性職員によるダンス等、多種多様の出し物を披露し喜んでいただけたかと思います。利用者も音楽レクリエーションや手話クラブで日々練習した成果を披露することが出来、とても満足されていました。

昼食は、オードブルやサンドイッチ・刺身の盛り合わせとテーブルに乗り切らない程たくさんご馳走が並び、デザートとしてチョコレートケーキがあり、大好評でした。

また会の後半では、理事長・常務・施設長がサンタの衣装を着てクリスマスプレゼントを渡し、1年に1度のこの行事を楽しんでいただけたと思います。



節分 (屈足わかふじ園)

2月3日は節分ということで、今年も年男・年女の利用者と職員が鬼に扮し、利用者や職員の間を廻り、豆まきを行いました。今年の年男は2名、年女は2名で大役を果たしていただきました。今年は鬼役で廻っている利用者が何故か豆を拾い職員に投げたり、鬼に投げる落花生をこっそりと食べてしまった利用者がいたりというハプニングがありました。鬼役の利用者は、それぞれ自分が作った鬼のお面を付け豆を投げられ、豆をまく利用者が鬼を追い払うように豆を投げたりと楽しく厄落としをしました。

豆まきが終わった後は、飲み物とお菓子を食べて楽しい時間を過ごされていました。



新春カラオケ大会

(屈足わかふじ園)

年が明けた1月3日に新春カラオケ大会を行いました。この日に向けて、参加される利用者は年末からカラオケクラブにて練習を行ってきました。

当日は帰省されている利用者もあり、歌われた利用者は8名でしたが、練習の成果を遺憾なく発揮し熱唱されていました。また出場しなかった皆さんも、応援団としてタンバリンやマラカスを鳴らし、大会を盛り上げてくださいました。

今回の大会は、利用者の中から審査員として3名の方が参加し、特別審査員として高畑課長が審査に加わりました。皆さん歌が上手で甲乙付けがたく、審査するのに頭を悩ませていたようでしたが、今大会の優勝者は久保さんに決定しました。

審査中には職員で『ヤングマン』を身振り手振りで披露し、表彰式後には全員でお正月の歌『一月一日』を歌いカラオケ大会を成功に終えることができました。



バレンタインデー

(屈足わかふじ園)

2月14日にバレンタインデーの行事を行いました。この日を迎えるに当たり、2月9日のお料理クラブで作ったチョコクッキー（それぞれ好きなようにデコレーションしました）を、当日皆さんで食べました。またバレンタインデーということもあり、男性利用者には女性職員から、女性利用者には男性職員からチョコクッキーを配りました。中には照れている方もいましたが、ほとんどの方が喜んでおりました。

食後には、ハート型のフレームでの写真撮影で、どの利用者も積極的に一緒に撮りたい利用者や職員を指名し、それぞれ好きなポーズで撮り、皆さんで楽しいバレンタインデーを過ごしました。



外注食の日(ラーメン)

(屈足わかふじ園)

2月10日に外注食として、町内のラーメン店「ロッキー」の皆さんにご来園していただき、ラーメンを作っていただきました。前もって味の希望を聞いていたためか、当日は朝から「今日は、ラーメンなんだ」と嬉しそうに話されていました。いつもより食事の時間が早くなると放送が流れると、張り切って食堂に向かう利用者の姿が見られました。冬場はなかなか外出出来ない利用者にとって、外注食は嬉しいイベントの一つになっているようです。食べ終わった利用者は「美味しかった」「ご馳走さまでした」とお店の方に声を掛けられていました。

大刻みや極刻み等、様々な食事形態があり、お店の方にはご迷惑をおかけしたかと思いますが、また機会があれば、利用者の人気メニューであるラーメンを提供したいので、お願いしたいと思います。本当にありがとうございました。



新規利用者紹介 (屈足わかふじ園)



柴田愛子さん
(平成16年12月13日入所)

歌を聴くのが好きで、他の利用者が歌を口ずさんでいるのを聴いて一緒に歌ったり、他の利用者とデイルームでテレビを観たりして過ごされています。またレクリエーションやクラブ活動がある日には自ら参加され、施設での生活に徐々に慣れ活動的に過ごされています。



伊藤博幸さん
(平成16年12月20日入所)

趣味は歌を唄うことで、カラオケクラブがある日には毎回参加されております。伊藤さんの歌はとても上手だと他の利用者からも好評です。またデイサービスの利用者と麻雀を楽しんだり、余暇には読書をしたり、他の利用者の居室と一緒に音楽を聴いたりと楽しく過ごされています。

行事のお知らせ

プロ野球観戦 (わかふじ寮)

平成17年4月19日 (火)

場所 札幌ドーム

家族会総会 (わかふじ寮)

平成17年5月14日 (土)

場所 わかふじ寮 地域交流ホーム

合同花見 (わかふじ寮・やすらぎ荘)

平成17年5月14日 (土)

場所 いこいの広場

第53回全国ろうあ者大会参加

平成17年5月28日 (土) ~ 29日 (日)

場所 札幌コンベンションセンター

交通安全大会

平成17年6月 *曜日未定

場所 わかふじ寮 地域交流ホーム



新入所者紹介 (やすらぎ荘)

1月25日にやすらぎ荘に入所されました。道外から来たこともあり、北海道の雪の多さに驚かれています。以前からの知り合いもあり、少しずつやすらぎ荘の生活に慣れてきています。雪が解けて過ごしやすくなれば、外出や行事など積極的に参加していただけたらと期待しています。



竹内芳子さん



感謝「車イス」の寄贈

十勝地区トラック協会青年交流部会より、厚生協会に車椅子の御寄贈があり、昨年12月22日 (水) に、わかふじ寮にて寄贈式が行われました。

トラック協会では、社会福祉事業として、スポーツ活動などの際に集まった募金により、平成5年から車椅子を寄贈して下さっており、今回で6回目となります。

軽量の折たたみ式で、持ち運びに大変便利な車椅子です。

御寄贈ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



(社会福祉法人として認可される)

一方どんな充実した施設内容でも、社会福祉法人の組織でなければ、法的に認められないので寸暇を割いて法人申請の準備を進めた。

月々の稼働収入も寮生の食費に回り、実家に仰いだ援助もこれ以上母を煩すに忍びず、自らの生活費を抑えて運動資金とし、法人としての財産整備に奔走した。条件すれすれの内容であり、幾度も役所を訪ね、指導を仰いだものである。

暮れも差し迫った昭和29年12月20日、新得町社会福祉協議会から私たちの事情を見兼ねて資金の一部にと、1万5000円が贈られた。法人の認可をと、藤川先生と2人でこの贈られた資金に、手持ちの5000円と合わせ僅か2万円を懐に上京し、厚生省や国会へ日参し陳情を重ねたのもこの時である。

陳情後、翌年5月に厚生省から現地調査に見え、発足以来3年目の昭和30年12月2日付けで宿望の社会福祉法人として認可になったものであった。ここに晴れて共同募金なども配分いただけるようになり、指導室や機械整備も着々と整った。長年、田村氏にお世話になった経営からはっきり分離し、家具や建具の木工授産所として独立に邁進したのであった。法人としての認可を受けるまでの間は、ほんの一瞬でいえる3年間ではあったが、何十年間にも相当すると思われる汗と涙の毎日であった。

(将来の見通しが明るい)

基礎が出来れば、次の発展も早く、昭和33年には身体障害者の授産施設として全国で初めてのケースとして、厚生省の指定を受けることが出来た。昭和35年には乾燥室と機械設備が増設され、入所者は定員50名を5人越え、かつて施設づくりに一つ鍋をつついた教え子も、今は技術指導員として、自らが歩んだ体験を生かして後輩指導に専念している。

年毎に社会に送り出した修了者も50余名となり、わかふじ寮での技術指導に生活指導の成果が実り、私たち以上に聞こえない人たちが就職先の先輩や同輩と円満に和合し身につけた技術を生かしながら豊かな生活をしているのは喜ばしいことである。

私が今日を迎えたことは、もちろん私1人だけの力だけとは思っていない。藤川先生が絶えず私を案じ、指導して下さったお陰であり、私の身近な職員の協力の賜りでもあり、私を支えて下さった社会の方のお陰に他ならない。私は私の人生の終着駅に至るまで、もっともわかふじ寮の充実のため努力していく決心でいる。

私どもの耳の聞こえないということは、隠し通せるものではない。何かの折りに悩み、何かの折りに迷うこともあるだろうが、そんな時の灯火として、わかふじ寮にいつまでもいつまでも私たちの心の灯火を灯しておきたいと願っているのである。

昭和42年執筆

社会福祉法人 厚生協会 人事異動

■異動

氏名	新	旧
高畑 訓子	やすらぎ荘・新得やすらぎ荘施設長及び短期入所・通所介護・居宅介護支援・訪問介護事業所管理者	屈足わかふじ園生活課長
竹村 海子	新得やすらぎ荘介護主任	屈足わかふじ園介護副主任
山本紀枝子	新得やすらぎ荘介護副主任	やすらぎ荘介護副主任
儀藤美紀子	新得やすらぎ荘介護副主任	新得やすらぎ荘パート介護員
山口 明美	新得やすらぎ荘介護支援専門員	やすらぎ荘事務員兼生活支援員
大山 浩一	新得やすらぎ荘理学療法士	屈足わかふじ園理学療法士
門馬 容子	新得やすらぎ荘介護員	訪問介護事業所サービス提供者(主任)
佐藤 祐子	新得やすらぎ荘介護員	やすらぎ荘介護員
前田 敏晴	新得やすらぎ荘介護員	屈足わかふじ園介護員
千田あつ子	やすらぎ荘介護副主任	新得やすらぎ荘介護主任
北 真由美	やすらぎ荘介護員	通所介護事業所介護員
若原あけみ	やすらぎ荘パート介護員	新得やすらぎ荘パート介護員
清野智恵子	やすらぎ荘パート介護員	新得やすらぎ荘パート介護員
飯田公美恵	訪問介護事業所サービス提供責任者(係長)	新得やすらぎ荘介護係長兼介護支援専門員
湯浅 千春	訪問介護事業所訪問介護員	新得やすらぎ荘介護員
蝦名千恵美	通所介護事業所介護員	やすらぎ荘介護員
坂梨 麻裕	屈足わかふじ園介護副主任	屈足わかふじ園介護員
佐藤 雅彦	屈足わかふじ園介護副主任	新得やすらぎ荘介護副主任
櫛引 路子	屈足わかふじ園介護員	新得やすらぎ荘介護員
高橋 千枝	第2わかふじ寮介護員	やすらぎ荘介護員

■職員登用

氏名	新	旧
村瀬真知子	屈足わかふじ園介護員	屈足わかふじ園介護員(臨時職員)
佐藤美恵子	屈足わかふじ園介護員	屈足わかふじ園介護員(臨時職員)
梶山なおみ	屈足わかふじ園介護員	屈足わかふじ園介護員(臨時職員)
東 美佳	屈足わかふじ園介護員	屈足わかふじ園介護員(臨時職員)

■採用

氏名	職名
中田 和義	屈足わかふじ園生活課長
官野千恵子	屈足わかふじ園介護員(臨時職員)
山田 朋美	屈足わかふじ園介護員(臨時職員)
渡辺 恵江	屈足わかふじ園介護員(臨時職員)
獄山 友美	新得やすらぎ荘介護員(臨時職員)
山内 和徳	新得やすらぎ荘介護員(パート)
小井戸哲也	訪問介護事業所訪問介護員(パート)

■退職

氏名	職名
大山口 功	新得やすらぎ荘・やすらぎ荘施設長及び短期入所・通所介護・居宅介護支援・訪問介護事業所管理者
大山口美弥子	やすらぎ荘介護員
澤井 郁恵	屈足わかふじ園介護員(臨時職員)

御寄付・御寄贈ありがとうございました

平成17年12月1日～平成17年3月31日（敬称略）

【本部】

松光雄
浅井医院 浅井秀雄
秋田県 真坂伸一
【わかふじ寮】
札幌市 石川勝治
新得町 鳥せいの新得店 椿了
帯広市 (株)JALトラベル北海道
新得町 JR新得駅
新得町 広瀬顕嗣
新得町 JA新得町
新得町 松光雄
新得町 多原 敏
清水町 清水中央薬局
帯広市 (株)ハウス工房コーワ
帯広市 (株)道東サッシセンター
新得町 マキ鉄工製作所
池田町 武内
新得町 遠藤理容店
新得町 (株)田村工業
新得町 (有)みうら
新得町 (有)せきぐち
帯広市 (株)斎藤塗料
新得町 石川靴店
新得町 高橋興業
新得町 新得町社会福祉協議会
帯広市 (株)田村義肢製作所
新得町 (有)かなざわ
新得町 新得物産(株)

新得町 富士火災
新得町 菅原武夫
清水町 北海道マツダ販売(株)
新得町 新得町議会
新得町 千葉 勲
標茶町 大山敏宏
別海町 水沼 猛雄
旭川市 鈴木幸雄
新得町 松坂勝雄
根室市 斎藤秀三
釧路市 岩田 豊
新得町 川崎 勉
【やすらぎ荘】
青森県 藤谷 悟
埼玉県 星名徳三郎
旭川市 秋田雅恵
上湧別町 河村 寛
新得町 多原笑子
新得町 千葉玄昭
新得町 社会福祉協議会
新得町 高田商店
新得町 浅井医院
【新得やすらぎ荘】
新得町 小又慶子
新得町 大内
新得町 新得幼稚園
新得町 中野よし江
新得町 岡田 保

船戸松男
本間政義
平 吉子
日下和子
佐藤定子
斉木江美子
高橋秀雄
玉川菓子店
帯広市 小原チトセ
大和よし
光生舎
札幌市 須田吉雄
平下昭義
平下雅子
山形県東根市 ほほえみ会
【屈足わかふじ園】
新得町 浅井秀雄
竹浦 隆
小笹ヒロ子
橋場カズ子
J A 新得
渡部晃
ムラカミ石油
小田天光堂
中嶋千恵子
深川芳夫
神谷和子
松田商店
八木ツル子

帯広市 柴田浩徳
田村義肢製作所
帯広ヤクルト販売
札幌福祉医療器
福島智恵
田上昭雄
加藤かよ子
早坂信道
長屋 勉
尾田 由美子
音更町 佐藤雪枝
伊藤静恵
譲葉陽子
宮路禮子
清水町 中島弘志
菅野 勉
芽室町 藤澤三夫
広尾町 森田府美也
陸別町 三好貞子
本別町 嶋崎真知子
足寄町 高橋 敏
上土幌町 佐々木富士雄
高谷富子
札幌市 柳沢秀一
芦別市 北橋久光
赤平市 高江智和理
福岡県 本松正夫

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けていますのでご利用ください。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)
wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)

閲 覧

厚生協会の事業報告書・財産目録・貸借対照表及び収支計算書等が閲覧できます。

閲 覧 場 所

厚生協会 法人事務局
新得町西3条北1丁目わかふじ寮内

編 集 後 記

広報紙「きずなの郷」が発行されるようになり、丸4年になります。一面に掲載しました除雪ボランティアについては、今回が初めての紹介となりました。今冬まで10年間続けている活動ですが、お手伝いしている利用者也高齢化しているのが現状です。今後、個人ボランティアが増えることと、新得町の降雪量が少ないことを願うばかりです。

第16号広報紙編集委員一同

家具修理承ります!!

捨てようと思っている家具は
ごさいませんか?

ヨーロッパでは親から子供へと受け継がれて行くほど家具は大切にされています。長年使っていくうちに塗装がはがれたり、キズがついたりしますがそれを修理して次の世代に渡します。アンティーク家具と呼ばれるもののほとんどが、こうして大切に使われてきたものだと思います。

日本でも、桐タンスは洗い直しが出来ますので長年に渡ってご使用できます。「修理して使う」と言う事は「物を大切に扱う」という事であり、環境にも(資源の有効活用)優しい事です。わかふじ寮では、家具の修理やリフォームを行っております。どのような事でもかまいませんのでお気軽にご相談下さい。ただし、修理できない場合もございますのでその時はご了承下さい。

尚、オーダー家具も承っております。

お客様のご要望・お部屋のサイズ・ご予算等にあわせて、お作り致します。

お見積は無料です。

お問い合わせ先 わかふじ寮 01566-4-5001
注文家具担当 片桐・高橋・高松